

保護者の皆様

新型コロナウイルスへの対応および今後の運営方針について

謹啓

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。日ごろは格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に際し、日本政府は4月7日付で緊急事態宣言を発令しました。京都府は対象地域に指定されていないものの、市内でもクラスター感染や経路不明の感染が報告されるなど予断を許さない状況が続いています。

こうした情勢を鑑み、沐羊舎も感染拡大防止のため最大限の取り組みを進めていく所存です。具体的な方策は以下の通りです。

沐羊舎の新型コロナウイルスへの対応（令和2年4月7日）

1. 昼間（開校～17:00）は窓を開け、常時換気を行います。
2. 教室入り口にアルコール消毒液を設置し、講師・生徒ともに使用を励行します。
3. 通常時よりも生徒どうしの席を空けます。およそ1m前後の距離をとります。また普段は撤去している教室中央の机のパーテーションを設けることで、ソーシャルディスタンスを確保します。
4. 講師の体調管理を徹底します。特に深夜に及ぶ長時間労働を避け、規則正しい生活を維持することで、健康の増進、ひいては感染リスクの低減を目指します。
5. ご家庭に重症化可能性の高い方が同居されているなどご心配の方には、次月以降への講座振替に対応いたします。ご相談ください。
6. 通塾前の検温をお願いいたします。体温が37.5度以上の場合は直前のお知らせでも振替いたしますので、ご自宅でのご静養をお願いいたします。なお体温計は教室に常備しております。
7. 現状の時間割で教室に人が密集することはありませんが、万が一多くの生徒様が一度に集まることになった場合、いわゆる「3密」回避のため受講時間の変更をお願いする場合がございます。

沐羊舎は小規模な個別指導教室（床面積50平方メートル程度）のため、講師と生徒、または生徒どうしの接触がもともと少なく、講師が大きな声を出すような場面もほとんどありません。またビルの2階に教室を構え風通しも良好なため、私の知見の限りでは新型コロナウイルスの感染リスクは低いと考えます。

とはいえどのような場面も100%安全とは言えません。今後とも身を引き締めつつ、小中高等学校の閉校が続くなか、お通いのお子様方に最善の学習環境を提供すべく微力を尽くす所存です。

沐羊舎は今年の7月で開校4周年を迎えます。お通いの皆様のおかげでここまで来ることができました。新型コロナウイルスの感染拡大は全世界が直面する未曾有の危機です。私個人といたしましても、沐羊舎にお通いの生徒様ならびに保護者様、ともに働く仲間、家族など、大切な人を守り抜くための1つの試練と受け止めております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

学びは人をゆたかにする 沐羊舎
代表 戸松幸一